

科目名	ふじのくに学(お茶) (Fujinokuni Studies (O-CHA))				
開講時期	2019 年度 前期	開講時限	集中講義	単位数	2
科目責任者	* 中村順行				
担当教員	* ステファン・ダントン 他				
授業目標	集中講義と野外実習により、多様な視点からお茶を総合的に学習し、お茶を通じて地域に愛着や誇りを持ち、地域の魅力を発信できる人材を育成する。				
授業概要	農学、作物学、生産から加工・流通までの多様な視点からお茶を総合的に学習する。				
授業方法	集中講義・フィールドワーク				
授業展開	<p>9月 13、14、15、16 日の 4 日間</p> <p>第 1 日 ふじのくに茶の都ミュージアム</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス 2 茶学概論 3 茶の歴史と文化 4 茶の品種、栽培 5 グループワーク <p>第 2 日 川根本町</p> <ol style="list-style-type: none"> 6 茶摘みから製茶まで 7 茶農家の生活 8 茶の淹れ方・闘茶 <p>第 3 日 静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター</p> <ol style="list-style-type: none"> 9・10 静岡茶と茶商 11・12 お茶と茶町 <p>第 4 日 静岡県立大学</p> <ol style="list-style-type: none"> 13 茶学総論 14 外国人から見た茶の可能性 15 グループワーク 16 まとめ 				
履修条件	全学共通科目の「茶学入門」と一部重複するため、「茶学入門」履修者の単位認定はしない。受講は可能。				
評価方法	レポート等に基づき判断する。				
テキスト	必要に応じて、プリントを配布する。	参考書			
備考	<p>ふじのくに地域・大学コンソーシアム単位互換協定校及び、南大阪地域大学コンソーシアム広域単位互換協定校の学生を対象とする。定員 40 名程度。</p> <p>「茶学入門」未履修者を優先する。</p> <p>学生負担金として、借上バス代、宿泊費等を徴収する。</p> <p>また、集合場所までの交通費、昼食代については、参加者負担とする。</p> <p>講師の中村順行特任教授は静岡県職員として、茶業の振興計画等に携わって経験を踏まえて講義を行い、ステファン・ダントン氏は、茶商としてのマーケティングの実践的な考え方について講義を行う。</p>				
社会人聴講生	原則聴講不可		科目等履修生 履修不可		